

■サウジアラビア：サウジアラムコが石油・ガス開発への投資を継続する方針

2016年1月25日の報道によれば、サウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコのKhalid al-Falih 会長が石油・ガス開発に対する新規投資を削減するつもりはないとの方針を示した。同社は世界最大の原油輸出企業であるが、原油価格低迷の現況下においても、Falih 会長は「(同社は) 費用削減で、多くの効率化を実現してきている」と語っており、同社は原油のマーケットシェア維持を狙っているものとみられている。また、同国政府が発表しているサウジアラムコ株売却の計画については、詳細は決まっていないとしている。